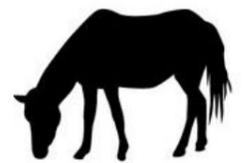




# 世界を駆ける



昨年出版された絵本『**モンゴル大草原800年**』は、柔らかいタッチの絵でモンゴルの暮らしや歴史を楽しく学ぶことができます。モンゴルの昔ながらの生活は、ゲルという組み立て式の家に住み、馬、ヒツジ、ヤギ、ラクダ、ウシなどをたくさん飼っていて、そのエサとなる草がある場所を求めて一年に何度も移動します。いわゆる遊牧民の生活ですが、まさに牧歌的で、私たちとは遠く離れた世界の、のんびりとした暮らしに思えます。そんなモンゴルの遊牧民たちがユーラシア大陸全土を駆けめぐり、世界一大きな国を築いた時代がありました。

古い時代のモンゴル高原にはたくさんの部族がバラバラに暮らしていましたが、13世紀にチンギス・カン(1162~1227)が部族をまとめてモンゴルを建国します。彼の生涯は2007年に「蒼き狼 ~地果て海尽きるまで~」(原作は小説『**地果て海尽きるまで**』)というタイトルで映画化されるなど、日本でもなじみ深い人物だと思います。余談ですが、この映画は反町隆史が主演です。あまり違和感がないのは、モンゴルと日本に暮らす人々は顔立ちがよく似ているからだと言われます。モンゴル高原と日本列島の人々は遺伝的にかなり近いとも言われており、このことは日本人のルーツを考える上での重要な材料の一つなのだそうです。

チンギス・カンは軍事や政治の制度を整え、広い地域に遠征を行いました。子どもの頃から馬に乗り、家畜の世話をするモンゴルの男性たちは、戦いが起これば全員が騎兵となります。騎兵とは馬に乗って戦う兵士のことで、銃や大砲が登場するまでは、最も強いものでした。そのため、モンゴル軍はやたらに強く、戦いを好んでいたというイメージが長く持たれていました。しかし『**モンゴルが世界史を覆す**』などを読むと、少し違った実態が見えてきます。

まず、遊牧民の戦いのスタイルとして、軍隊が向かい合ってもすぐに衝突とはならず、指揮官同士の話し合いや情報戦によって相手の出方を探り合い、不利と思った方が降伏する、というケースが多かったのだそうです。もちろん交渉が上手くまとまらずに戦いになり、残酷な出来事が起こることが無かったわけではありませんが、それよりずっと多くの場合、平和的に勢力が拡大されていったのだそうです。

そもそも遊牧民は農耕民に比べて人口が少ないこともあり、人命を重んじる傾向があって「いかに戦わずして勝つか」が最重要課題で、それを実現できる者がリーダーになるそうです。モンゴルではリーダーの選び方も特徴的です。中国の皇帝や日本の将軍のように、農耕社会の場合は長子相続と言って、長男が後を継ぐケースが多いのですが、モンゴルでは王が亡くなると一族が集まって「クリルタイ」と呼ばれる会議を開き、誰が後継ぎとしてふさわしいかを話し合いで決めるのだそうです。土地や財産を持たず、不安定な生活をしている遊牧民は、戦いや交渉が上手い優秀なリーダーを選ばなければ、全員が減んでしまいかねないので、こういった選び方をします。現代社会での企業経営などにも通じる進歩的な考え方だと感じます。

『**モンゴルが世界史を覆す**』で印象的だったのは、古いモンゴル語の「イル」という言葉です。「戦ってイルにする」のような使い方をするそうですが、この言葉は最近まで「征服する、服属させる」と訳されてきました。しかし実際のところは「仲間にする」に近い言葉だそうです。モンゴルは勢力下に置いた国の人々を積極的に兵士や役人として登用し、実績があれば政府の高官になることさえありました。こういった大らかな考え方を持っていたからこそ、その勢力を広げることができたのでしょう。

13世紀後半にはモンゴル帝国は、西はヨーロッパから東は中国、朝鮮半島にまでおよぶ広大な地域を統治するようになり、戦乱が少ない「パクス・モンゴリカ(モンゴルの平和)」と呼ばれる時代がやってきます。関税が撤廃されて自由な商業が奨励され、陸にも海にも交易路が発達しました。最近の歴史学では、このモンゴルの時代に史上はじめて世界全体が一体となった経済活動が行われるようになったという意見もあるのだそうです。この時に出来上がった長大な交易ネットワークが、現代まで続く世界の構図の基盤を作ったとも考えられています。

世界を駆け巡り、支配した地域の人々を「イルにする」寛容な政策を行い、自由な交易を奨励して世界一大きな国を作ったモンゴルの遊牧民たち。現代を生きる私たちが彼らから学べることもあるかもしれません。

## ☆ モンゴルについての本の紹介 ☆

- ◎『**モンゴル大草原800年**』イチンノロブ・ガンバートル(文)  
バーサンスレン・ボロルマー(絵)津田紀子(訳)福音館書店 2018年
- ◎『**モンゴルが世界史を覆す**』杉山正明 日経ビジネス人文庫 2006年
- ◎『**興亡の世界史9 モンゴル帝国と長いその後**』杉山正明 講談社 2008年
- ◎『**NHKスペシャル文明の道5 モンゴル帝国**』  
杉山正明 弓場紀知 宮紀子ほか NHK出版 2004年
- ◎『**エリアスタディーズ4 モンゴルを知るための65章**』金岡秀郎 明石書店 2000年

